

広島県後期高齢者医療広域連合の財政状況の公表

～ 平成27年11月 ～

この「財政状況の公表」は、後期高齢者医療制度の運営にお金がどのように使われているのかといった広域連合の財政状況を、皆さんに知っていただくため、毎年度、5月に下半期分（前年10月1日から3月31日まで）の財政状況と当年度の当初予算を、11月に上半期分（4月1日から9月30日まで）の財政状況と前年度の決算状況を「広島県後期高齢者医療広域連合の財政状況の作成及び公表に関する条例」に基づき公表するものです。

今回は、平成27年度上半期（平成27年4月1日から9月30日まで）の予算の執行や財産の状況と平成26年度の決算状況について公表します。

また、最後に、主要な予算科目の内容について簡単に説明していますので参考にしてください。

平成27年度上半期の財政状況

～予算執行の状況と資産等の概要～

以下で説明する財政状況は、平成27年9月30日現在で記載しています。

1 平成27年度上半期の補正予算の概要

上半期の補正予算のうち主なものは、次のとおりです。

(1) 一般会計

平成27年9月30日までに一般会計予算の補正はありませんでした。

(2) 後期高齢者医療特別会計

平成27年9月30日までに後期高齢者医療特別会計予算の補正はありませんでした。

●上半期の一般会計補正予算の状況

(歳入)

(単位：千円)

区 分	当初予算		予算現額
分担金及び負担金	959,896		959,896
国庫支出金	1		1
財産収入	176		176
繰入金	140,000		140,000
繰越金	1		1
諸収入	216		216
合 計	1,100,290		1,100,290

(歳出)

(単位：千円)

区 分	当初予算	予備費充用	予算現額
議会費	1,963		1,963
総務費	298,844	1,217	300,061
民生費	794,320		794,320
公債費	163		163
予備費	5,000	△1,217	3,783
合 計	1,100,290	0	1,100,290

●上半期の後期高齢者医療特別会計補正予算の状況

(歳入)

(単位:千円)

区 分	当初予算		予算現額
市町支出金	63,549,421		63,549,421
市町保険料等負担金	(32,299,133)		(32,299,133)
国庫支出金	133,406,146		133,406,146
県支出金	33,152,452		33,152,452
支払基金交付金	165,810,944		165,810,944
特別高額医療費共同事業交付金	58,623		58,623
財産収入	4,415		4,415
繰入金	4,668,267		4,668,267
繰越金	1		1
県財政安定化基金借入金	1		1
諸収入	347,256		347,256
合 計	400,997,526		400,997,526

※市町保険料等負担金：市町支出金のうち保険料等についての再掲

(歳出)

(単位:千円)

区 分	当初予算	予備費充用	予算現額
総務費	795,728		795,728
保険給付費	397,556,987		397,556,987
県財政安定化基金拠出金	169,181		169,181
特別高額医療費共同事業拠出金	85,635		85,635
保健事業費	260,851		260,851
基金積立金	2,051,882		2,051,882
公債費	3,247		3,247
諸支出金	49,015		49,015
予備費	25,000		25,000
合 計	400,997,526	0	400,997,526

2 平成27年度上半期の歳入歳出予算の執行状況

予算執行状況については次のとおりです。

●一般会計の予算執行状況（平成27年9月30日現在）

（歳入）

（単位：千円）

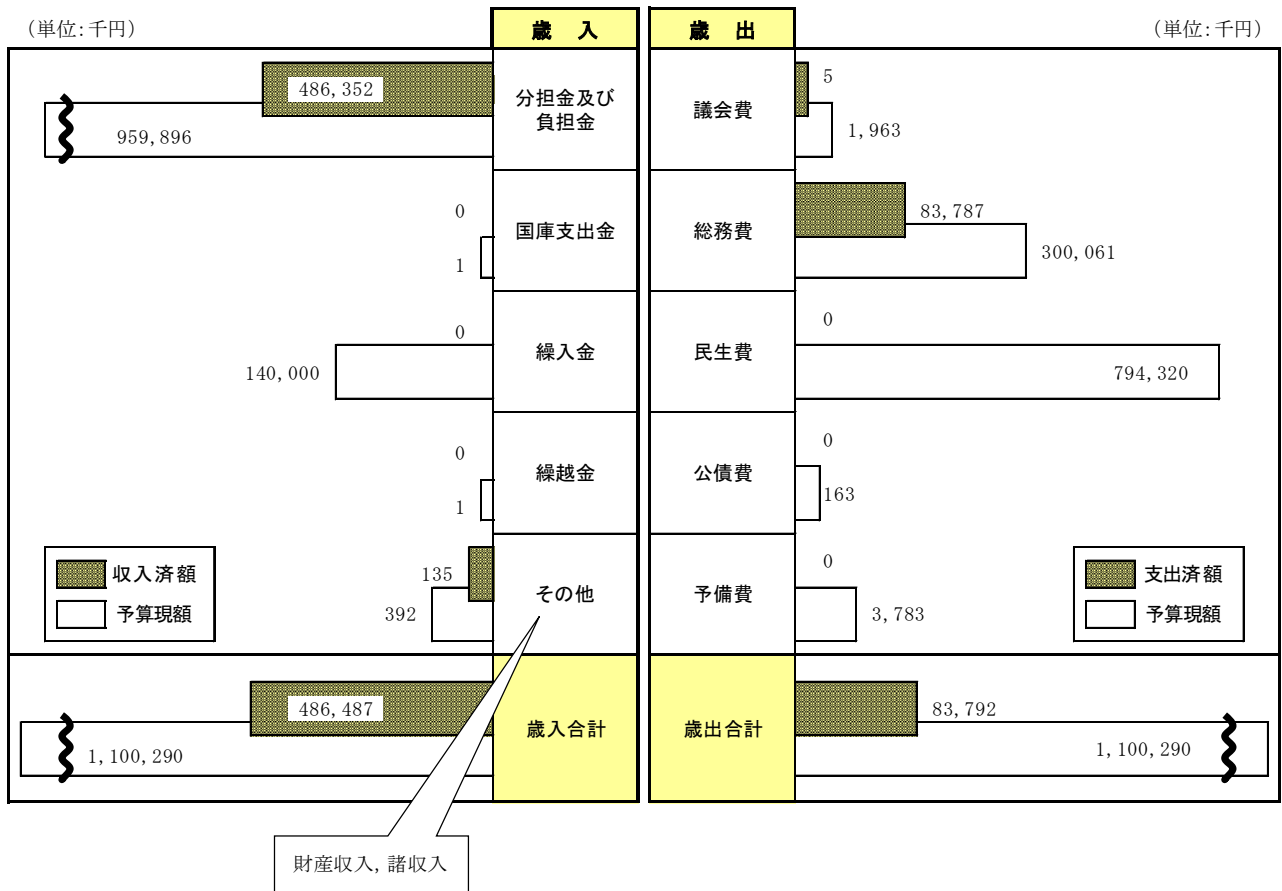
区 分	予算現額 (A)	収入済額 (B)	収入率 (B/A)
分担金及び負担金	959,896	486,352	50.7%
国庫支出金	1	0	0.0%
財産収入	176	23	13.1%
繰入金	140,000	0	0.0%
繰越金	1	0	0.0%
諸収入	216	112	51.9%
合 計	1,100,290	486,487	44.2%

（歳出）

（単位：千円）

区 分	予算現額 (A)	支出済額 (B)	支出率 (B/A)
議会費	1,963	5	0.3%
総務費	300,061	83,787	27.9%
民生費	794,320	0	0.0%
公債費	163	0	0.0%
予備費	3,783	0	0.0%
合 計	1,100,290	83,792	7.6%

グラフ「平成27年度一般会計予算の執行状況（平成27年9月30日現在）」



(注)上のグラフには、視覚的にわかりやすくしているため、数値と棒グラフの長さの比が合致しない箇所があります。

●後期高齢者医療特別会計の予算執行状況（平成27年9月30日現在）

（歳入）

（単位：千円）

区 分	予算現額 (A)	収入済額 (B)	収入率 (B/A)
市町支出金	63,549,421	27,754,593	43.7%
市町保険料等負担金※	(32,299,133)	(12,050,746)	(37.3%)
国庫支出金	133,406,146	78,753,217	59.0%
県支出金	33,152,452	21,317,421	64.3%
支払基金交付金	165,810,944	59,989,059	36.2%
特別高額医療費 共同事業交付金	58,623	0	0.0%
財産収入	4,415	188	4.3%
繰入金	4,668,267	0	0.0%
繰越金	1	1,517,287	151,728,700.0%
県財政安定化 基金借入金	1	0	0.0%
諸収入	347,256	158,063	45.5%
合 計	400,997,526	189,489,828	47.3%

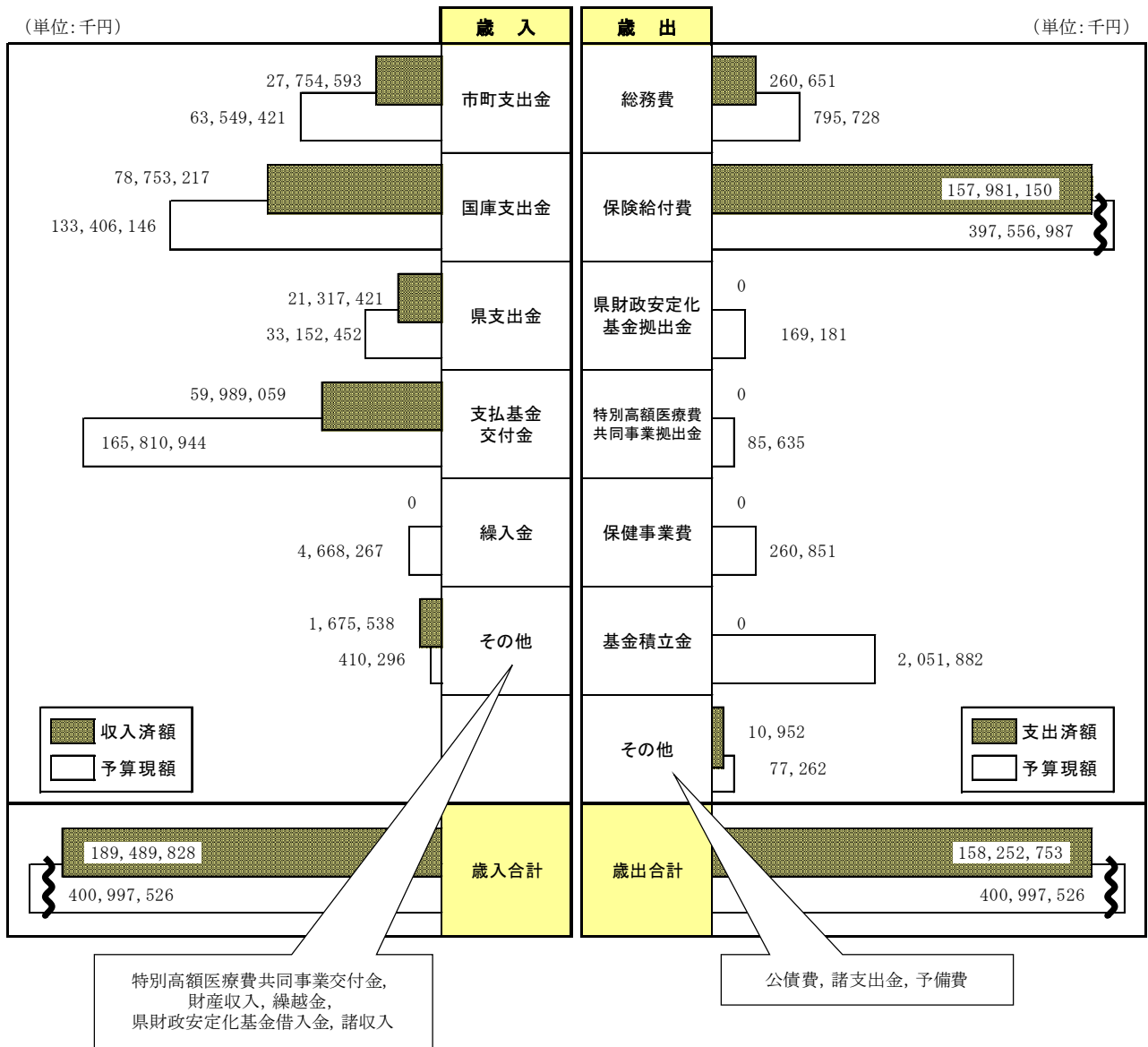
※市町保険料等負担金：市町支出金のうち保険料等についての再掲

（歳出）

（単位：千円）

区 分	予算現額 (A)	支出済額 (B)	支出率 (B/A)
総務費	795,728	260,651	32.8%
保険給付費	397,556,987	157,981,150	39.7%
県財政安定化 基金拠出金	169,181	0	0.0%
特別高額医療費 共同事業拠出金	85,635	0	0.0%
保健事業費	260,851	0	0.0%
基金積立金	2,051,882	0	0.0%
公債費	3,247	0	0.0%
諸支出金	49,015	10,952	22.3%
予備費	25,000	0	0.0%
合 計	400,997,526	158,252,753	39.5%

グラフ「平成27年度後期高齢者医療特別会計予算の執行状況（平成27年9月30日現在）」



(注)上のグラフには、視覚的にわかりやすくしているため、数値と棒グラフの長さの比が合致しない箇所があります。

3 広域連合が所有する財産の現在高

平成27年9月30日現在において、広域連合が所有する財産は、次のとおりです。

【物 品】

区 分	数 量	摘 要
物 品	3	財務会計システム1式，広域連合システムDBサーバ関連機器1式，広域連合システム処理結果検証用機器1式

(取得価格1件100万円以上の物品)

【基 金】

名 称	金 額 (円)	摘 要
財政調整基金	279,565,157	決算剰余金等を積み立て、不測の支出に備えるための基金
後期高齢者医療制度 臨時特例基金	285,935,521	被用者保険の被扶養者であった被保険者の保険料激変緩和措置等の財源補てんのための基金
後期高齢者医療給付 準備基金	8,810,651,549	徴収した保険料のうち、その年度に余ったものを積み立て、次年度以降の給付に充てるための基金

4 一時借入金及び地方債の借入状況

(1) 一時借入金

一時借入金とは、一時的な現金の不足を補うための短期借入金です。

平成27年4月1日から9月30日までの間の借入れはありませんでした。

(2) 地方債（広域連合債）

地方債とは、その償還が借入年度以降にわたる長期の借入金で、多額の事業費の財源を確保し、費用負担の世代間格差を是正するためのものです。

平成27年9月30日現在において、借入れはありません。

5 住民負担の状況

被保険者に納めていただいた保険料は、医療給付等に要する費用に充てられる「保険料等負担金」として、各市町から広域連合に納付されています。

この他、各市町からは、広域連合の運営に要する費用に充てられる「事務費負担金」、及び医療給付に要する費用に一定の割合で充てられる「療養給付費負担金」が広域連合に納付されています。

平成27年4月1日から平成27年9月30日における各市町の納付額は、次のとおりです。

(単位：千円)

区分	保険料等負担金	事務費負担金	療養給付費負担金	合計
広島市	4,266,669	160,242	5,024,136	9,451,047
呉市	1,267,454	42,924	1,704,078	3,014,456
竹原市	175,583	7,372	235,590	418,545
三原市	555,488	19,370	757,938	1,332,796
尾道市	864,818	27,948	1,065,240	1,958,006
福山市	1,882,600	70,612	2,300,364	4,253,576
府中市	248,911	9,796	281,592	540,299
三次市	320,817	19,146	550,571	890,534
庄原市	260,629	10,888	404,484	676,001
大竹市	160,543	6,962	200,604	368,109
東広島市	657,589	26,458	819,498	1,503,545
廿日市市	562,924	19,410	624,990	1,207,324
安芸高田市	188,002	8,290	260,046	456,338
江田島市	183,759	7,412	275,550	466,721
府中町	227,628	8,968	234,816	471,412
海田町	110,145	5,820	125,466	241,431
熊野町	124,683	5,828	134,118	264,629
坂町	71,003	4,170	86,508	161,681
安芸太田町	53,107	3,906	100,782	157,795
北広島町	113,935	6,186	174,852	294,973
大崎上島町	67,499	4,052	87,774	159,325
世羅町	111,048	5,858	146,292	263,198
神石高原町	75,467	4,734	108,558	188,759
合計	12,550,301	486,352	15,703,847	28,740,500

※保険料等負担金には、平成26年度の納付額(499,555千円)を含んでいます。

主要な予算科目の内容

1 一般会計

(歳入)

区 分	説 明
分担金及び負担金	広域連合を構成する23市町からの事務費分担金
国庫支出金	「意見を聞く場」の設置等に要する経費に充てられる特別調整交付金
財産収入	基金の運用預金利子
繰入金	財政調整基金からの繰入れ
繰越金	前年度の決算剰余金の繰越し
諸収入	その他の収入

(歳出)

区 分	説 明
議会費	広域連合の議員報酬や議会の運営のための経費
総務費	職員の人件費や広域連合の運営に要する経費
民生費	後期高齢者医療特別会計の事務費等の経費に充てる繰出金
公債費	一時的な現金不足に対処するため、借り入れる資金に対する支払利子
予備費	不測の支出に備えるための経費

2 後期高齢者医療特別会計

(歳 入)

区 分	説 明
市町支出金	被保険者から徴収した保険料や、被保険者が受けた医療給付の1/12相当の市町の公費負担
国庫支出金	被保険者が受けた医療給付の3/12相当の公費負担や、広域連合間の財政調整を目的とした調整交付金等
県支出金	被保険者が受けた医療給付の1/12相当の公費負担等
支払基金交付金	現役世代からの後期高齢者支援金
特別高額医療費 共同事業交付金	著しく高額な医療費の発生による影響を緩和するための交付金
財産収入	基金の運用預金利子
繰入金	一般会計、臨時特例基金、給付準備基金からの繰入金
繰越金	前年度の決算剰余金の繰越し
県財政安定化基金 借入金	後期高齢者医療の財政安定化を目的に県が設置する基金からの借入金
諸収入	その他の収入

(歳 出)

区 分	説 明
総務費	後期高齢者医療制度の事務執行に伴う経費
保険給付費	療養給付費、高額療養費、葬祭費等の保険給付のための経費
県財政安定化基金 拠出金	後期高齢者医療の財政安定化を目的に県が設置する基金に積み立てる経費(国・県・広域連合の負担率各1/3)
特別高額医療費 共同事業拠出金	全国の広域連合が負担し、特別高額医療費共同事業交付金の財源となる拠出金
保健事業費	各市町で行う被保険者の健康診査等の保健事業に対する補助金
基金積立金	臨時特例基金、給付準備基金への積立金
公債費	一時的な現金不足に対処するため、借り入れる資金に対する支払利子
諸支出金	国庫負担金、県負担金、市町負担金の返還等に要する経費
予備費	不測の支出に備えるための経費

平成26年度広域連合の決算の状況

1 平成26年度の事業

平成26年度、広域連合では平成25年度に引き続き、被保険者に安定した医療給付を実施していくための各種の事業を行い、制度の円滑かつ効率的な運営に努めました。

各会計の主な支出は次のとおりです。

●平成26年度一般会計の主な事業

主な経費としては、後期高齢者医療特別会計の事務費に充てるための事務費繰出金（667,492千円）、派遣職員の給料等負担金（248,885千円）等となっています。

●平成26年度後期高齢者医療特別会計の主な事業

主な経費としては、被保険者の医療機関等での受診に対する療養給付費を中心とした保険給付費（362,737,202千円）、市町が行う健康診査事業、歯科健康診査事業や長寿・健康増進事業に対する補助（234,932千円）、電算処理システムの安定稼動と適正運用のための広域連合電算処理システム運用管理事業（250,791千円）、レセプト点検や医療費通知、後発医薬品差額通知、重複・頻回受診者訪問指導等の医療費適正化対策事業（154,353千円）等となっています。

2 平成26年度一般会計の決算状況

歳入決算額	9億5,122万9,697円
歳出決算額	9億5,122万9,697円
歳入歳出差引額	0円

(1) 歳入の状況

平成26年度一般会計の財源構成は、構成市町からの負担金が全体の96.2%を占め、次いで年度間の財源の不均衡を調整する財政調整基金等からの繰入金が3.8%となっています。

前年度と比較すると、合計で4,353千円(0.5%)の減となっておりますが、これは主に、構成市町からの負担金が4,838千円(0.5%)減額となったことによるものです。

(歳入)

(単位:千円)

区 分	予算現額 (A)	収入済額 (B)	収入率 (B/A)	全体に 占める 割合	前年度 収入済額 (C)	増減 (D=B-C)	増減率 (D/C)
分担金及び負担金	914,904	914,904	100.0%	96.2%	919,742	△4,838	△0.5%
国庫支出金	0	0	—	0.0%	3,512	△3,512	皆減
県支出金	0	0	—	0.0%	3,169	△3,169	皆減
財産収入	268	247	92.2%	0.0%	295	△48	△16.3%
繰入金	123,504	35,673	28.9%	3.8%	28,558	7,115	24.9%
繰越金	108	107	99.1%	0.0%	0	107	皆増
諸収入	332	298	89.8%	0.0%	306	△8	△2.6%
合 計	1,039,116	951,229	91.5%	100.0%	955,582	△4,353	△0.5%

(注) 端数処理の都合で全体に占める割合の合計が100.0%にならない場合があります。

(2) 歳出の状況

平成26年度の歳出の状況を行政目的別に見ると、特別会計事務費繰出金等の民生費が70.2%を占め、次いで広域連合事務局の運営経費である総務費が全体の29.7%となっています。

前年度と比較すると、派遣職員給料等負担金等の総務費が9,188千円(3.4%)の増となっておりますが、特別会計事務費繰出金等の民生費が13,669千円(2.0%)の減となったため、合計で4,246千円(0.4%)の減となりました。

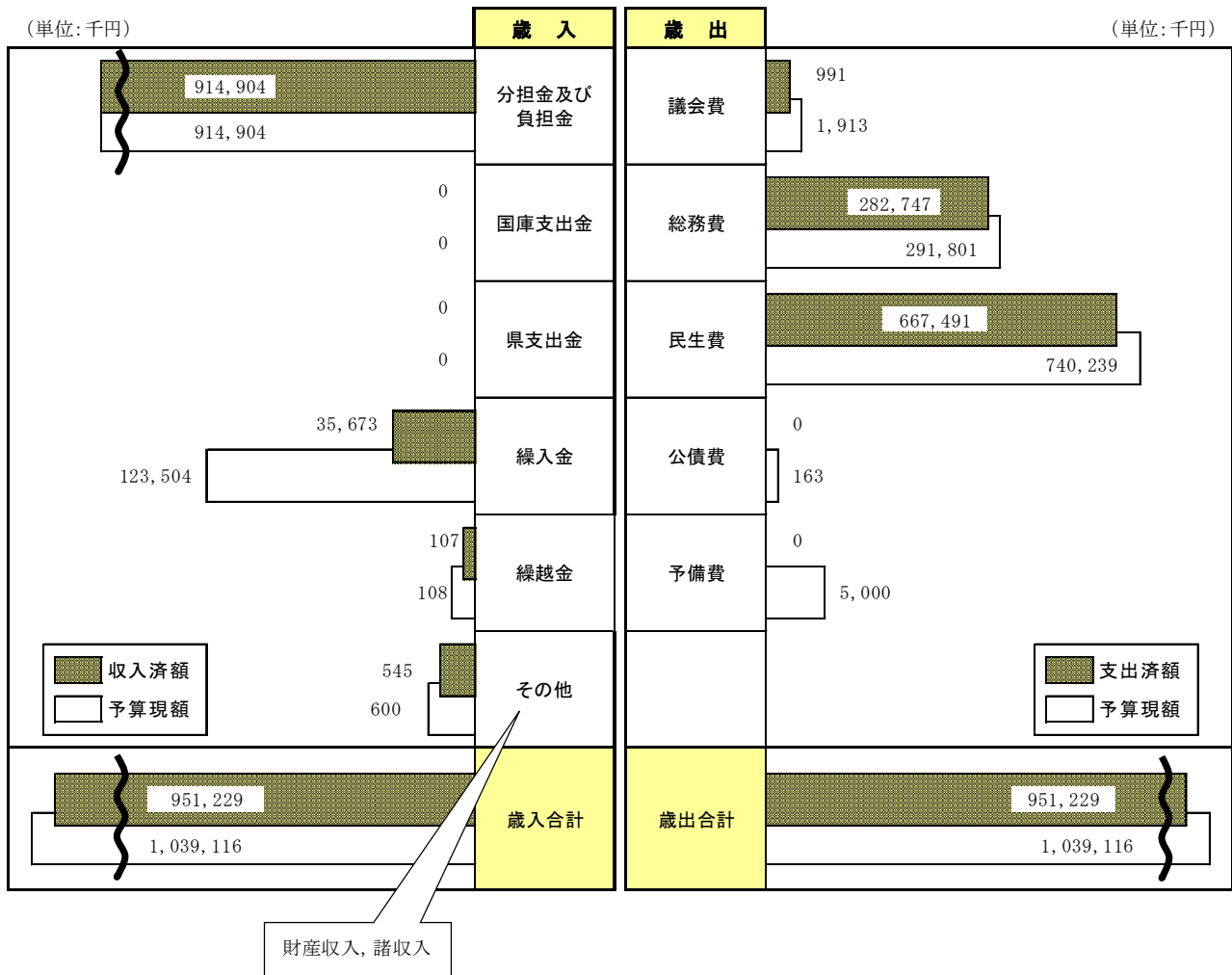
(歳出)

(単位:千円)

区 分	予算現額 (A)	支出済額 (B)	支出率 (B/A)	全体に 占める 割合	前年度 支出済額 (C)	増減 (D=B-C)	増減率 (D/C)
議会費	1,913	991	51.8%	0.1%	756	235	31.1%
総務費	291,801	282,747	96.9%	29.7%	273,559	9,188	3.4%
民生費	740,239	667,491	90.2%	70.2%	681,160	△13,669	△2.0%
公債費	163	0	0.0%	0.0%	0	0	—
予備費	5,000	0	0.0%	0.0%	0	0	—
合 計	1,039,116	951,229	91.5%	100.0%	955,475	△4,246	△0.4%

(注) 端数処理の都合で全体に占める割合の合計が100.0%にならない場合があります。

グラフ「平成26年度一般会計歳入歳出決算の状況」



(注) 上のグラフには、視覚的にわかりやすくしているため、数値と棒グラフの長さの比が合致しない箇所があります。

3 平成26年度後期高齢者医療特別会計の決算状況

歳入決算額	3,755億3,853万7,145円
歳出決算額	3,740億2,125万483円
歳入歳出差引額	15億1,728万6,662円

この差引額は、平成26年度の剰余金として平成27年度に繰り越し、国庫補助金等の返還金の財源に充てます。

(1) 歳入の状況

平成26年度後期高齢者医療特別会計の財源構成は、現役世代からの支援金である支払基金交付金が全体の40.3%を占め、次いで国庫支出金が32.9%、市町支出金が15.8%、県支出金が8.3%となっています。

(歳入)

(単位:千円)

区分	予算現額 (A)	収入済額 (B)	収入率 (B/A)	全体に 占める 割合	前年度 収入済額 (C)	増減 (D=B-C)	増減率 (D/C)
市町支出金	62,099,055	59,186,183	95.3%	15.8%	58,410,191	775,992	1.3%
市町保険料等負担金	(32,236,569)	(30,760,689)	(95.4%)	(8.2%)	(30,297,959)	(462,730)	(1.5%)
国庫支出金	127,104,391	123,636,560	97.3%	32.9%	122,478,132	1,158,428	0.9%
県支出金	32,473,577	30,987,285	95.4%	8.3%	30,605,968	381,317	1.2%
支払基金交付金	156,107,885	151,489,051	97.0%	40.3%	150,606,740	882,311	0.6%
特別高額医療費 共同事業交付金	56,360	60,648	107.6%	0.0%	63,671	△3,023	△4.7%
財産収入	4,950	4,950	100.0%	0.0%	3,026	1,924	63.6%
繰入金	4,981,194	2,628,010	52.8%	0.7%	2,605,095	22,915	0.9%
県財政安定化 基金借入金	1	0	0.0%	0.0%	0	0	—
諸収入	682,356	653,950	95.8%	0.2%	422,700	231,250	54.7%
繰越金	6,891,900	6,891,900	100.0%	1.8%	4,059,860	2,832,040	69.8%
合計	390,401,669	375,538,537	96.2%	100.0%	369,255,383	6,283,154	1.7%

※市町保険料等負担金:市町支出金のうち保険料等についての再掲

(注) 端数処理の都合で全体に占める割合の合計が100.0%にならない場合があります。

(2) 歳出の状況

平成26年度の歳出の状況を行政目的別に見ると、被保険者の医療機関等での受診に対する療養給付費を中心とした保険給付費が全体の97.0%と歳出総額のほとんどを占め、次いで平成25年度交付分の国庫支出金返還金を中心とした諸支出金が1.5%となっています。

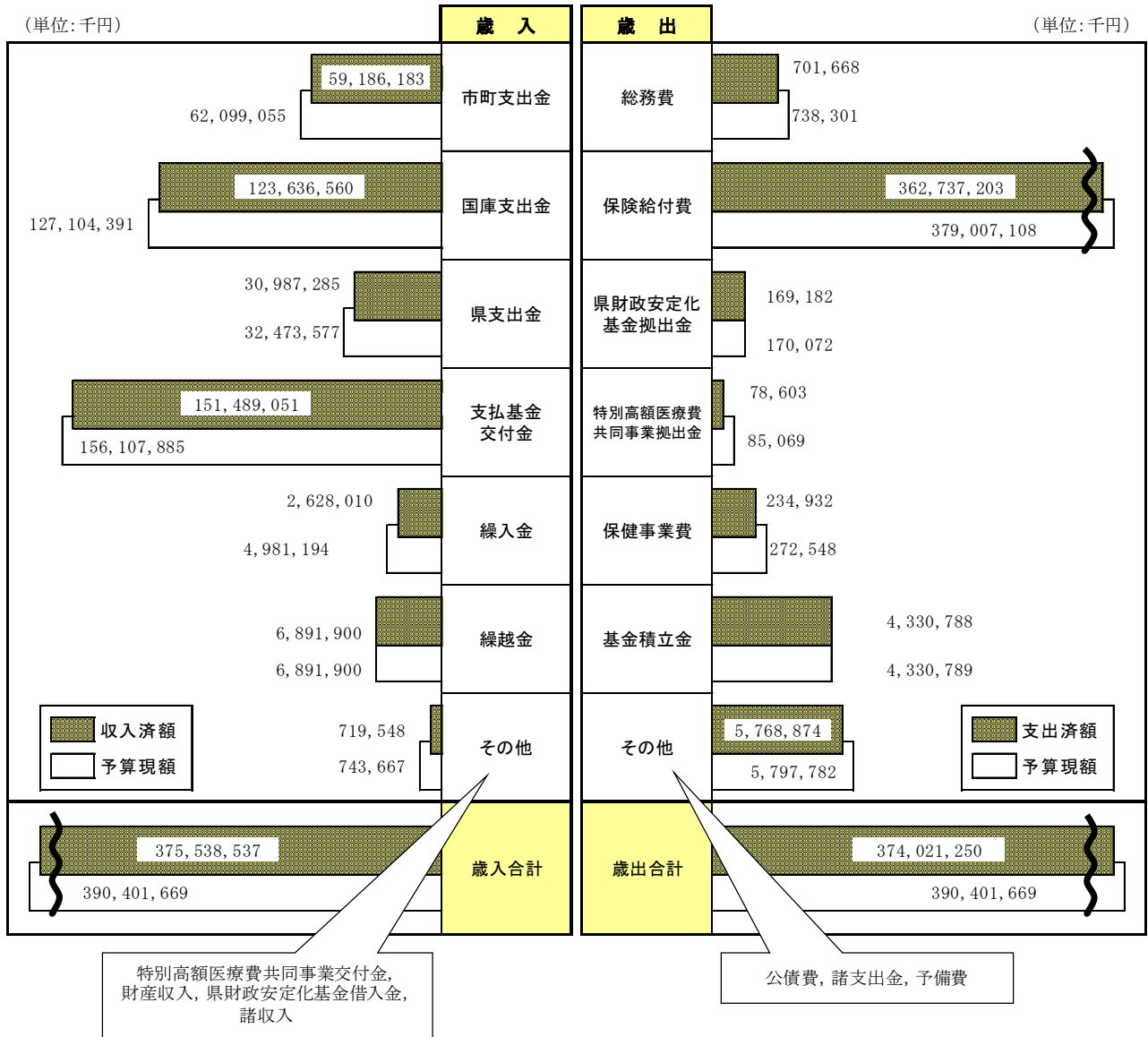
(歳出)

(単位:千円)

区分	予算現額 (A)	支出済額 (B)	支出率 (B/A)	全体に 占める 割合	前年度 支出済額 (C)	増減 (D=B-C)	増減率 (D/C)
総務費	738,301	701,668	95.0%	0.2%	714,897	△13,229	△1.9%
保険給付費	379,007,108	362,737,203	95.7%	97.0%	356,132,970	6,604,233	1.9%
県財政安定化 基金拠出金	170,072	169,182	99.5%	0.0%	332,694	△163,512	△49.1%
特別高額医療費 共同事業拠出金	85,069	78,603	92.4%	0.0%	69,518	9,085	13.1%
保健事業費	272,548	234,932	86.2%	0.1%	288,299	△53,367	△18.5%
基金積立金	4,330,789	4,330,788	100.0%	1.2%	2,989,355	1,341,433	44.9%
公債費	3,247	0	0.0%	0.0%	0	0	—
諸支出金	5,769,535	5,768,874	100.0%	1.5%	1,835,750	3,933,124	214.3%
予備費	25,000	0	0.0%	0.0%	0	0	—
合計	390,401,669	374,021,250	95.8%	100.0%	362,363,483	11,657,767	3.2%

(注) 端数処理の都合で全体に占める割合の合計が100.0%にならない場合があります。

グラフ「平成26年度後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の状況」



(注)上のグラフには、視覚的にわかりやすくしているため、数値と棒グラフの長さの比が合致しない箇所があります。